

女子的☆キャリア図鑑4

渡井博子さん

ネイルアーティスト 株式会社ぱれっと代表取締役
カラーズネイルネイルスクール校長

「ママの本気の起業」

2017.2.15

高校を中退し家出

父が材木店経営、母が小中学校の教員。三姉妹。富士宮西高校に入学するが、親や教師に反発し高二で中退した。家出をし色々なアルバイトをしたが見た目で判断されいじめられた。十八歳の時、神奈川県海老名市で親に内緒で長男を出産した。子育ては頑張っていたが、働きたいという思いの方が強く自分は専業主婦は向きだと感じた。そこで以前から興味だったネイルの道に進みたいと思い、十九歳で静岡に引越した。高卒の資格を得るため保育園に子供を預け静岡中央高校に通学した。放課後はネイルスクールで勉強した後、子供を迎えに行った。収入を得るために託児所に子供を預け、二時ころまでキャバクラで仕事をした。毎日四時間くらいの睡眠で三年間がむしゃらに頑張りの高校を無事卒業した。

ネイルサロンに勤務

静岡で何軒かネイルサロンに勤め、技術や接客にも自信がついてきた。固定客も出来てきたので長男が小学校入学の時に地元に戻り、アパートの六畳一室でネイルサロンを開いた。当初は静岡のお客様もいたが次第に足が遠のいていった。自らスナック等に飛び込み営業しお金と人脈を作るために夜

のお店を転々とした。親に「爪に絵を書いて食べていけるわけない」と反対されたがひたすら頑張った。再婚し二〇〇五年に次男が生まれた。この頃から、お店はだんだん軌道に乗ってきた。当時はまだ市内にネイルサロンは少なく、富士の中島に十二畳のネイルサロンを開店した。二〇〇六年に長女が生まれた。一歳と〇歳の子供を育てながら、お客様の信用はもちろんスタッフの信用も得なければと頑張った。ネイルの仕事が趣味の延長ではないところを示したくて仕事のキャンセルはしなかった。単価が二万円くらいのゆとりのある奥様方のネイルの注文に応じるためにハワイに材料の買い付けに行ったこともあった。二〇〇七年、三十歳の時過去最高の売上げをあげた。

ネイルサロンの乱立

ネイルリストは国家資格ではないので、ネットであい材料を買い付けた格安のお店が全国的に乱立していった。今までのお客様がそちらへ移り売り上げが半分になっていった。自分は静岡や東京のネイルスクールはもちろん、外国にまで行って技術を磨いたプライドがあったので、他店の悪口は一言も言わずひたすら頑張った。値段を下げない自分のお店の特徴を理解してもらえないように、材料説明や免許を持ったスタッフの紹介等を書いた手作り案内表で理解をしていただいた。全国的にも価格破壊が起こったが、値段を下げずに今まで通り一流の材料を提供し続けた。その努力が実り以前のお客様も戻ってきてくれた。



富士宮店につづき、三島店オープン

自分に責任を持つ為に、土地や建物等自分の持ち物として富士宮にお店を開いた。一ヵ月後税務署が来て何年にもさかのぼって色々調べられた。その結果、家を建てたばかりであったが、ペーシッターのお金は経費では落とせないなど知らないことがたくさんあり、色々な納付書が届き毎月支払いに追われ続けた。

長男の登校拒否や離婚、体調不良などが重なり、八方ふさがりで死を意識することもあった。最終的には開き直り、仕事をバリバリやっている姿を子供たちに見せようと決心した。ジェルネイル技能検定受験や衛生管理士講習会等を開講できる認定校を持つのが夢だったので、ネイルスクールがない土地の三島で二〇一四年お店をオープンすることにした。経営が上手くいくとは限らないので、内装もほとんどせすに期限を決めて開店することにした。三島は道幅も狭く大好きな車を手放し、軽自動車を買った。ポスティング等々を試みオープンしたが、当初は二ヶ月くらいお客様ゼロの日が続いた。スタッフの自主的な取り組みや心の成長もあり、次第にお客様が来てくれ現在に至っている。

これからは、次世代にバトンを渡せるおせっかいなおばさんとなって、地域に恩返しをしたいと思っている。

若者のためのキャリアデザイン支援室

f きやる

TEL/FAX:0545-32-6958

協力 株式会社マイ・ロード

